

縣報

第三號

明治三十三年五月四日

和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第三十四號

明治三十三年三月三勅令第八十一號第十條ニ依リ和歌山縣稅徵收細則左ノ通相定ム

明治三十三年四月廿五日

和歌山縣知事 小倉 久

和歌山縣稅徵收細則

第一條 明治三十三年三月三勅令第八十一號第四條ノ徵稅令書ハ府縣制第八十條及明治三十三年

年三月內務省令第七號第十三條ニ依リ郡ニ係ルモノハ郡長ヨリ町村長ヘ市ニ係ルモノハ市長ヨリ市參事會ヘ發シシム其ノ令書ハ別紙第一號書式ノ如シ

隨時賦課スル縣稅ハ郡長又ハ市長ヨリ各納稅人ニ對シ徵稅令書ヲ發スルコトヲ得

第二條 納期ヲ定メタルモノハ納期初日ヨリ郡ハ十日市ハ五日以前ニ徵稅令書ヲ發スヘシ

隨時賦課ニ係ルモノハ其ノ認許鑑札ヲ交付スルト同時ニ徵稅令書ヲ發スヘシ

第三條 市參事會又ハ町村長ニ於テ徵稅令書ヲ受ケタルトキハ左ノ區別ニ隨ヒ第二號書式

ノ徵稅傳令書ヲ發スヘシ

一 納期ヲ定メタルモノハ七日以前

二 隨時賦課ニ係ルモノハ即日

明治三十三年五月四日

第四條 縣稅納期ノ末日日曜日又ハ祝日終日ニ當ルトキハ其翌日ヲ以テ納期末日トス

第五條 市町村ニ於ケル徵稅傳令書發付後納期初日前其ノ市町村内ニ於テ不動産權ノ移轉若クハ賣入ニ係ルモノアルトキハ其傳令書ヲ更正スヘシ

第六條 動産ニ賦課スル税金ニシテ其ノ税金徵收前該動産ノ所有權異動ニ係ルモノアルトキハ未ダ納期ニ至ラストモ該期ノ税金ハ其ノ時々之ヲ徵收スヘシ

第七條 縣稅中二種以上ノ納稅者其ノ一種滯納ノ爲メ滯納處分ヲ爲スニ方リ他ノ種類ニ對シ既ニ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ヲ發シタルモノアルトキハ併セテ之ヲ徵收スヘシ

第八條 市町村ニ於テ縣稅ト同時ニ其ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ徵稅傳令書ニ該附加稅額ヲ列記シテ徵收スルコトヲ得

此場合ニ於テノ徵收金ハ縣稅ヲ先收ト爲スヘシ滯納處分ノ場合ニ於ケル其ノ費用亦同シ前項ニ依リ徵收スル税金ハ縣稅ト其ノ附加稅トチ區分スルハ勿論帳簿モ亦各別ニ調製スヘシ

第九條 納稅人ニ於テ税金ヲ市町村收入役ニ抽込ムトキハ徵稅傳令書ニ現金ヲ添付スヘシ市町村收入役ニ於テ納稅人ヨリ税金ヲ領收シタルトキハ徵稅傳令書ニ式ノ如ク謄印及割印ヲ爲シ其ノ傳令書ヲ分發シテ之ヲ領置シ其ノ領收證ハ納稅人ニ交付スヘシ

第十條 市町村收入役ニ領收シタル縣稅金ハ其ノ日其ノ地ヲ發シ縣金庫ニ納付スヘシ前項税金確實ナル保證法ノ設ケアル市町村ハ納期中又ハ隨時賦課ニ係ル税金ニ限り七日以内其ノ市町村ニ留置シコトヲ得

第十一條 市町村ノ區域廣闊若シハ徵收複雜ニシテ不便ナリト認ムル市町村ハ知事ノ許可ヲ得テ納期最終ノ日ヲ繰上ケ徵收スルコトヲ得

但滞納處分ヲ要スル場合ニ於テハ一般ノ納期ヲ經過スルニアラサレハ滞納處分スルコトヲ得ス

第十二條 市町村ニ於テ徵收シタル税金ヲ納入スルトキハ第三號書式ノ拂込書ニ現金ヲ添ヘ之ヲ縣金庫ニ差出スヘシ

縣金庫ニ於テ前項ノ拂込ヲ受ケタルトキハ様式ニ隨ヒ證印及割印ヲ爲シ拂込書ヲ分截シテ留置キ領收證ヲ交付シ別符ハ令書發シタル行政廳ニ送付スヘシ

第十三條 勅令第八十一號(三十三年三月)築六條ノ滞納報告ハ納期滿限ノ翌日ヨリ三日以内ニ差出スヘシ

第一號書式

用紙適宜 縱五寸 横四寸

徵 稅 令	
第 何 號	何郡(市ハ市參事會)町村長氏名納
明治何年度 (前)(後)半期 又ハ何月分	縣 稅 何 稅
一 金 何 程	

明治三十三年五月四日

書

右何年何月何日限縣廳(何郡)縣支金庫へ納付スヘシ

年月日 何郡(市)長 氏 名印

第二號書式

用紙適宜 縱五寸ノモノ二枚
横四寸

第何號 何 某 納

明治何年度 (前) 何 月 分
又 (後) 何 月 分

一金何 程 縣稅何稅

右何年何月何日限何郡(市)覺町村收入役へ納付スヘシ

年月日 何郡(市)ハ市參事會(何町)村長 氏 名印

傳 稅 徵

收入役
割印

第何號 何 某 納

令

明治何年度

又(前) (後) 何 月 半 期

書

一金何程

收入役
證印

縣稅何稅

右領收候也

年月日

何郡(市)何町村收入役 氏名印

第三號書式

用紙適宜 縱五寸ノモノ二枚 縱五寸ノモノ一枚 接續 横四寸 横三寸

第何號

何郡市町村分

拂

明治何年度

又何期 何月分

縣

稅何

稅

込

一金何程

書

右拂込候也

明治三十三年五月四日

年月日 何郡(市)市參事會(何町村長氏名印



第何號 何郡市町村分

明治何年度 又何何月分 縣 稅何 稅

一金何程



右領收侯也

年月日 縣金庫何支金庫印



第何號 何郡市町村分

明治何年度 又何何月分 縣 稅何 稅

領收證別

符

一金何程

縣金庫
証印

年月日

縣金庫何支金庫へ拂込

(備考)

本則第一條第二項ノ場合ニ於テハ其ノ令書ノ調製方ハ第三號書式ニ準シ
納税人へ發付スヘシ

○和歌山縣令第三十五號

明治三十三年^四月^四和歌山縣令第三十三號ハ廢止ス

明治三十三年^四月^二十六日

和歌山縣知事

小倉

久

明治三十三年^四月^四和歌山縣令第三十五號參照

明治三十三年^四月^四和歌山縣令第三十三號ハ漁舟其ノ他和船ノ通行禁止等ノ件

○和歌山縣令第三十六號

明治三十年^二月^二縣令第二十二號害蟲驅除豫防法施行規則中左ノ通改正追加ス

明治三十三年^四月^廿七日

和歌山縣知事

小倉

久

第三條第四號

(被害見積反別)トアルナ(被害見積反別及價額)ト改ム

第三條末項へ左ノ但書ヲ加フ

但本條報告ノ際第四號ノ區別及價額等判明シ難キル又ハ異動ヲ生シタルルハ前報告後五十日以内ニ報告スヘシ

○告示

○和歌山縣告示第九十七號

明治三十三年度本縣蠶種検査員左之通任命セリ

明治三十三年四月廿一日

和歌山縣知事

- | | |
|---|------|
| 星 | 小倉久 |
| 田 | 伊三郎 |
| 柱 | 楠壽郎 |
| 川 | 口爲吉 |
| 谷 | 河吉郎 |
| 兒 | 島正信 |
| 中 | 村俊一 |
| 灘 | 川角之助 |
| 木 | 本優 |

○和歌山縣告示第九十八號

明治三十三年度本縣蠶種検査所位置區域及開所期日左之通相定ム

明治三十三年四月廿一日

和歌山縣知事

小倉久

一蠶種検査法施行細則第五條第一號第二號ニ關スル蠶種検査所ノ位置區域及開所期日

検査所名 検査所位置 所轄區域 開所期日

和歌山蠶種検査所 和歌山縣廳内 全 管 四月二十一日

一蠶種検査法施行細則第五條第三號ニ關スル蠶種検査所ノ位置區域及開所期日

検査所名 検査所位置 所轄區域 開閉所期日

和歌山蠶種検査所 和歌山縣廳内 和歌山市一圓 九月一日 日開所

岩出蠶種検査所 那賀郡役所内 那賀郡一圓 九月三十一日 日閉所

橋本蠶種検査所 伊都郡役所内 伊都郡一圓 九月三十一日 日閉所

湯淺蠶種検査所 有田郡役所内 有田郡一圓 九月二十一日 日閉所

御坊蠶種検査所 日高郡役所内 日高郡一圓 九月二十五日 日閉所

田邊蠶種検査所 西牟婁郡役所内 西牟婁郡一圓 十月十一日 日閉所

新宮蠶種検査所 東牟婁郡役所内 東牟婁郡一圓 十月二十五日 日閉所

○和歌山縣告示第九十九號

兵庫縣下朝來郡梁瀬村ノ内澁田村ニ於テ本月十二日牡牛一頭炭疽ニ罹リ斃死セシ旨ニ縣ヨ

リ通知アリタリ

明治三十三年四月廿一日

○和歌山縣告示第百號

和歌山縣知事

小倉

久

兵庫縣神戸市榮町六丁目貳拾貳番邸
移民取扱人日下部正一

内地業務代理人 平尾正義

英領加奈陀 業務代理人 桑原信五郎

出張 通知アリタリ

和歌山縣知事

小倉

久

右移民取扱業務代理人タル旨所轄縣知事ヨリ通知アリタリ
明治三十三年四月二十一日

○和歌山縣告示第百一號

左記ノ者死亡ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登録ヲ取消ス
明治三十三年四月廿四日

和歌山縣知事

小倉

久

有田郡湯淺町大字山田百八十一番地
和歌山縣平民 大谷しげ

○和歌山縣告示第百三號

左記ノ者本日頭記ノ番號ヲ以テ和歌山縣產婆名簿ニ登録ス
明治三十三年四月廿五日

和歌山縣知事

小倉

久

和歌山市湊通丁南三丁目三番地寄留
香川縣士族

第三百七十三號

多田春

○和歌山縣告示第四百號

兵庫縣下朝來郡板田村ノ内市御堂村ニ於テ本月十六日牡牛一頭炭疽ニ罹リ全十七日斃死セ
シ旨全縣ヨリ通知アリタリ

明治三十三年四月廿六日

和歌山縣知事

小倉久

○和歌山縣告示第五百號

明治三十三年度和歌山縣第一中學校德義分校歳入歳出豫算府縣制第六十八條二號ニ依リ縣
參事會ノ議決ヲ經特別會計トシテ内務大臣ノ許可ヲ得左ノ通定ム

明治三十三年四月廿六日

和歌山縣知事

小倉久

明治三十三年度和歌山縣第一中學校德義分校歳入歳出豫算書

歳入

第一款 雜收入 金五百拾圓

第一項 授業料 金五百圓

第二項 雜入 金拾圓

第二款 寄附金 金參千九百九拾圓

第一項 教育費寄附 金參千九百九拾圓

歳入合計金四千五百圓

歳出

第一款 和歌山縣第一中學

第一項 校德義分校費

金四千五百圓

第二項 俸

金參千五百八拾圓

第三項 雜

金四百六拾圓

第四項 國庫納金

金參拾四圓

第五項 退職給與

金參拾圓

第六項 校 費

金貳百九拾六圓

第六項 修繕費

金百圓

歲出合計金四千五百圓

此歲出ニ充ツヘキ歳入ハ寄附金其他雜收入ヲ以テ之レニ充テ別ニ賦課徵收セス

○和歌山縣告示第百六號

明治三十三年^{四月}和歌山縣告示第百二號中艦砲射擊施行ノ件ハ販止候旨大演習統監ヨリ通知アリタリ

明治三十三年四月二十六日

和歌山縣知事

小倉

久

○和歌山縣告示第百七號

本縣和歌山市九番丁二番地ニ和歌山縣第一中學校德義分校ヲ設置シ明治三十三年四月三十日ヨリ開校ス

明治三十三年四月廿六日

和歌山縣知事

小倉

久

○和歌山縣告示第百八號

明治三十三年本縣告示第七十八號本縣蠶業講習所設管位置ノ内日高郡上山路村トアルヲ日高郡中山段村ト改ム
 明治三十三年四月三十日
 和歌山縣知事 小倉久

○訓令

○和歌山縣訓令甲第四十八號

日高郡役所
 同 郡警察署
 同 分署
 同 町村役場

明治三十三年^四月本縣訓令甲第三十八號陸海軍召集事務整召檢閲日割表中廳務都合ニ依リ當分日高郡ノ檢閲ヲ停止ス
 明治三十三年四月廿六日
 和歌山縣知事 小倉久

○和歌山縣訓令甲第四十九號

郡役所
 市役所

土地收用法第十五條ニ依リ認定ヲ爲シ又ハ通知ヲ受ケタルトキハ其都度左記事項取認本官ヲ經由シ内務大臣ニ報告スヘシ

一土地收用法第十五條第一項ノ規定ニ依リ認定ヲ爲シタルトキハ起業者、事業ノ種類、使
用スヘキ土地ノ區域及使用ノ時期

一土地收用法第十五條第二項ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ使用スヘキ土地ノ區域

明治三十三年四月二十八日

和歌山縣知事

小倉久

○和歌山縣訓令甲第五十號

縣立學校

郡役所

市役所

市町村立學校

私立學校

明治三十三年五月十日

皇太子殿下御結婚ノ大典ヲ行ハセラル、コ付各學校ニ於テ三大

節ノ儀式ニ準シ以テ奉祝ノ意ヲ表スヘシ

明治三十三年四月三十日

和歌山縣知事

小倉久

○正 誤

當縣明治三十三年^四月訓令甲第四十三號ニ附屬セル第四號及第六號ノ表中「縣廳(何郡)縣支

金庫」トアルハ「縣金庫何支金庫」ノ誤

明治三十三年四月三十日

和歌山縣